

&lt;第96回調査&gt;

2017年5月29日

**【本調査の目的】**

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

**【調査実施期間】**

2017年5月16日(火)13:00~2017年5月23日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

**【調査対象】**

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

**【調査方法】**

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は716件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

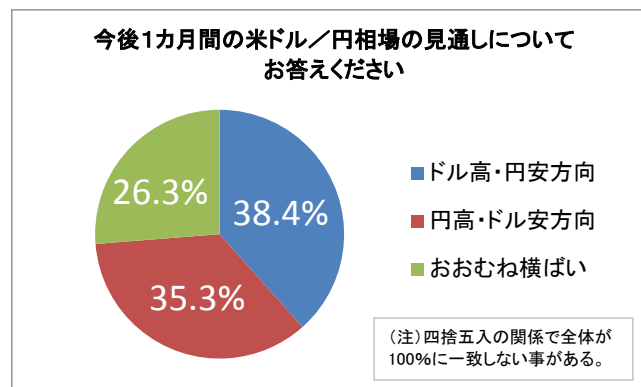
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【第96回調査結果略報：5カ月ぶりにユーロ強気見通しへ】

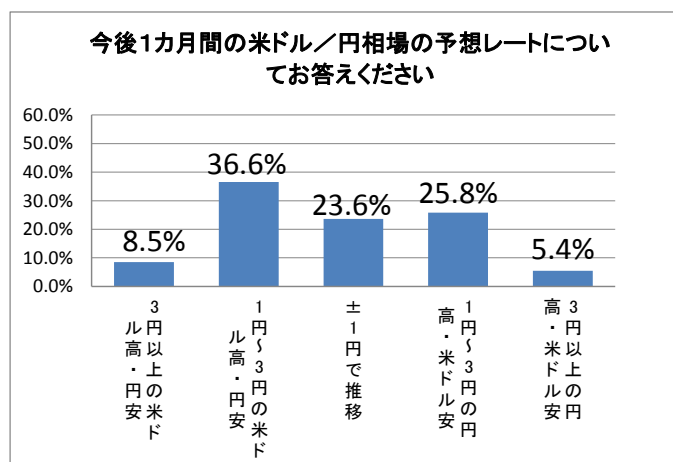
### 問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が38.4%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は35.3%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は△3.1%ポイントとなり、過去最大のマイナス幅を記録した前回の▼35.5%ポイントから、わずかにプラス圏へと浮上した。調査期間中の米ドル/円相場は、ロシアゲート問題(トランプ米大統領のロシア癒着疑惑)などによって一時110円台前半まで下落したが、その後は下げ渋った。このところ、米ドル/円相場は北朝鮮のミサイル発射に対しても大きな反応を示さなくなっている。こうした下値の堅さに信頼を寄せ始めた向きがある一方、弱気予想を維持した向きも少なくなかった。個人投資家の相場見通しに強弱感が対立しているようだ。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が36.6%と最も多く、「1円～3円の米ドル安・円高(25.8%)」、「±1円で推移(23.6%)」と続き、以下「3円以上の米ドル高・円安(8.5%)」、「3円以上の円高・米ドル安(5.4%)」の順になった。ヒストグラムの形状は米ドル高・円安側にやや傾いてはいるが、両サイドと中心が低い「M」字型を描いているのが特徴的だ。「おおむね横ばい」予想が少なく、相場見通しに強弱感の交錯が見て取れた問1の回答結果と整合的だろう。

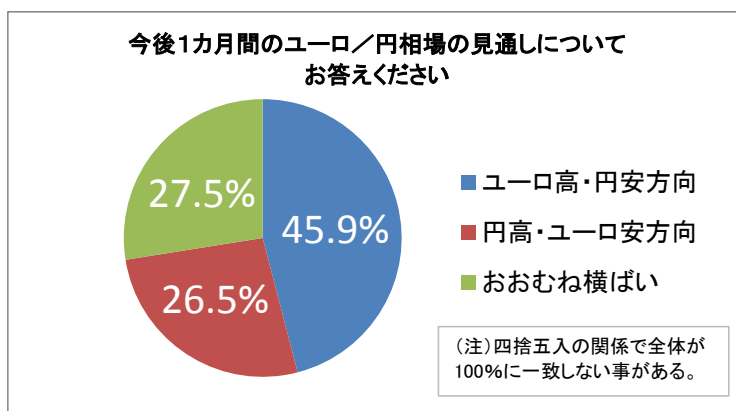


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

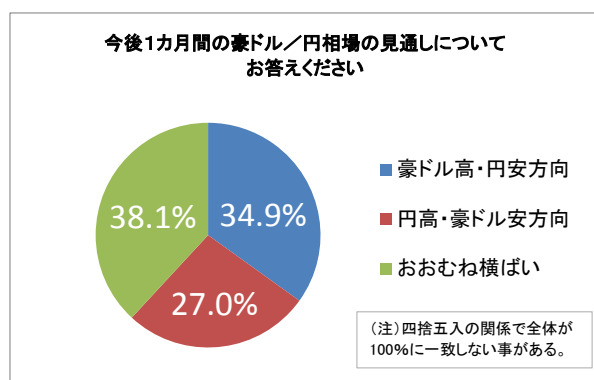
### 問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が45.9%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が26.5%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は△19.4%ポイントと、5カ月ぶりにユーロ強気予想とに転じた。調査期間中のユーロ/円相場は、約1年ぶりの高値となる125.80円台まで上昇したのち122.50円台まで調整したが、125.30円台へと再度切り返すなど荒っぽい動きながらも高値圏で堅調を維持した。域内の景気回復基調やインフレ上昇基調が強まる中、欧州中銀(ECB)の緩和解除観測が浮上しており、こうした見方が個人投資家のユーロ選好復活に寄与したと考えられる。※過去のユーロ円予想DIの推移はP6-7に掲載。



### 問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が34.9%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は27.0%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は△7.9%ポイントと、前回の▼26.8%ポイントからプラス圏を回復。調査期間中の豪ドル/円相場は、84円台から81円台へ下落したものの、83円台へと持ち直す底堅い展開であった。そうした値動きが個人投資家の強気見通しに繋がった可能性はある。ただ、米ドル/円(問1)やユーロ/円(問2)と比べると上昇(強気)予想の割合が低く、横ばい予想の割合が高いのが特徴的だ。個人投資家の見通しが強気化したとは言い切れない回答内容と言えるかもしれない。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP6-7に掲載。



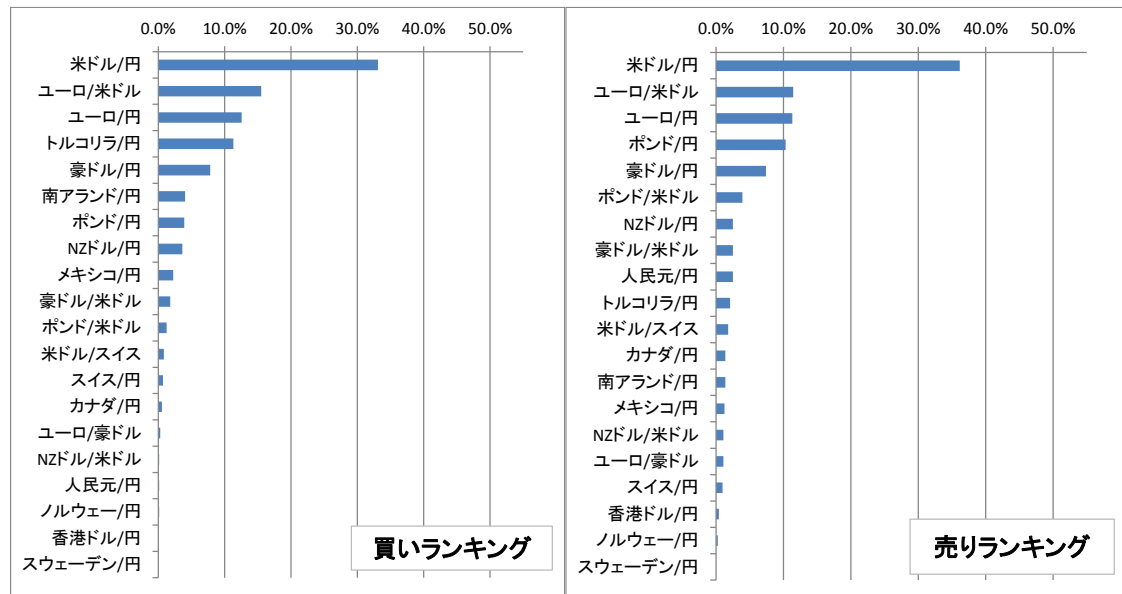
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が33.1%の回答割合を集めて1位であった。以下、ユーロ/米ドル(15.5%)、ユーロ/円(12.6%)、トルコリラ/円(11.3%)、豪ドル/円(7.8%)の順に続いた。米ドル/円が連続首位記録を56カ月(4年8カ月)に伸ばしたほか、ユーロ/円が前回の7位から大きく順位を上げた。また、新興国通貨や高金利通貨にも根強い買い意欲が見られた。

一方、「売り」で注目の通貨ペアでも米ドル/円が36.2%の回答割合を集めて7カ月連続で首位をキープ。以下、ユーロ/米ドル(11.5%)、ユーロ/円(11.3%)、ポンド/円(10.3%)、豪ドル/円(7.4%)の順に続いた。米ドル/円については、「買い」で注目の回答割合を上回っており、問1の結果とはやや不整合的と言えるかもしれない。しかしながら、相場観に強弱が入り混じっている様子が改めて確認できる。また、ユーロ/米ドルやユーロ/円にポンド/円も含めた欧州通貨のクロスペアについては売り意欲が根強い事も改めてわかった。

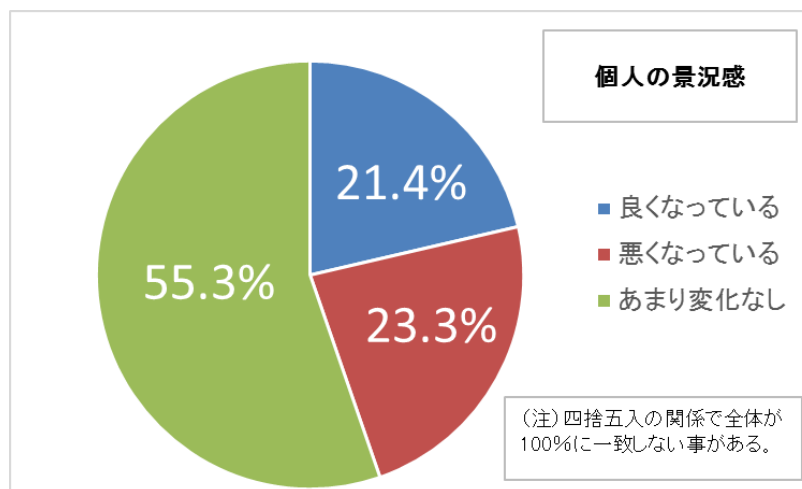


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 問6: あなた個人の景況感はいかがですか？(ひとつだけ)

今回の特別質問として、「あなた個人の景況感はいかがですか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「良くなっている」が21.4%、「悪くなっている」が23.3%、「あまり変化なし」が55.3%と言う結果であった。3カ月前の第93回調査ではそれぞれ、16.9%、22.2%、60.9%であった事から、個人投資家の景況感は一歩改善したと言えなくもないが、相変わらず「あまり変化なし」が過半数を占めている点からも改善の印象は薄い。個人投資家の景況感は一歩改善したと言えなくもないが、相変わらず「あまり変化なし」が過半数を占めている点からも改善の印象は薄い。個人投資家の景況感は一歩改善したと言えなくもないが、相変わらず「悪化しなかった」というのが正確な評価であろう。



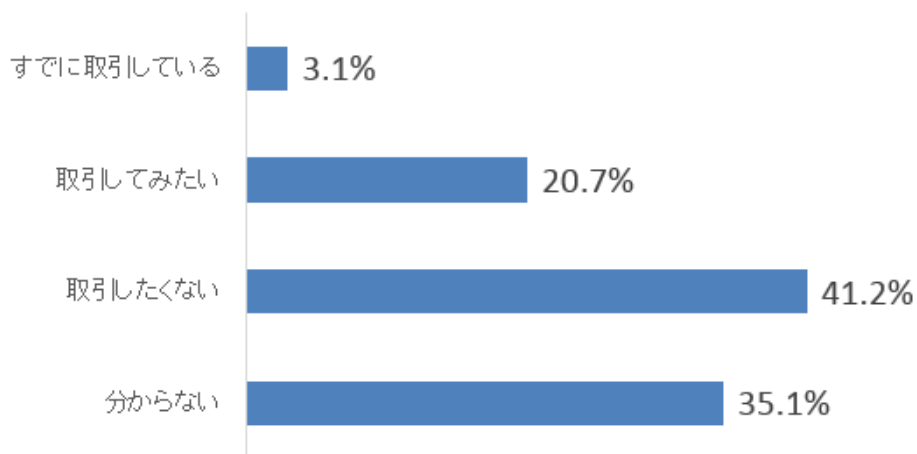
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

### 問7:ビットコインなど、仮想通貨への投資意向についてお答えください。(ひとつだけ)

今回の特別質問として、「ビットコインなど、仮想通貨への投資意向についてお答えください。(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「すでに取引している」と答えたのは3.1%に過ぎなかった。また、今後「取引してみたい(20.7%)」の割合を「取引したくない(41.2%)」が大きく上回っており、「わからない」も35.1%に上った。FXと商品特性に類似点がある事や、円建てビットコイン価格の大幅上昇などから、日本の個人投資家がFX市場から仮想通貨市場に大量になだれ込んだとの噂もあるが、今回の調査結果からはそこまでの大きな動きは感じられなかった。もっとも、暗号通貨全体の市場規模は一説によると8兆円前後とされており、月間400兆円前後の取引が行われるFX市場から数%の資金が流入しただけでも、レート形成に大きな影響が出る事は容易に想像できる。「取引してみたい」との回答が20.7%であった事について、これを多いと見るか少ないと見るかは見解が分かれるところだが、少なくとも今後なんらかの影響が及ぶ可能性を否定する事はできないだろう。なお、それぞれの回答についてその理由を自由記述形式で尋ねたところ、「すでに取引している」、「取引してみたい」とした向きからは「今後、爆発的に需要が伸びる可能性を感じる」、「国に左右されない通貨に魅力」、「ボラティリティの高さに面白み」などとの回答が寄せられた。また「取引したくない」、「わからない」とした向きからは「流動性が低い」「仕組みが理解できない」などに加えて「オランダの(チューリップ)球根バブルのようなあやふやさを感じる」との声も上がっていた。

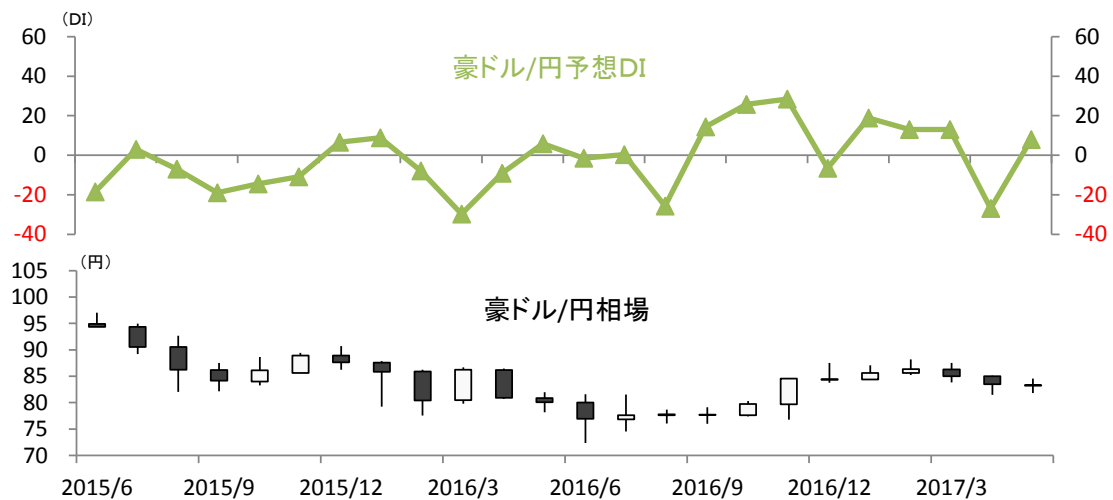
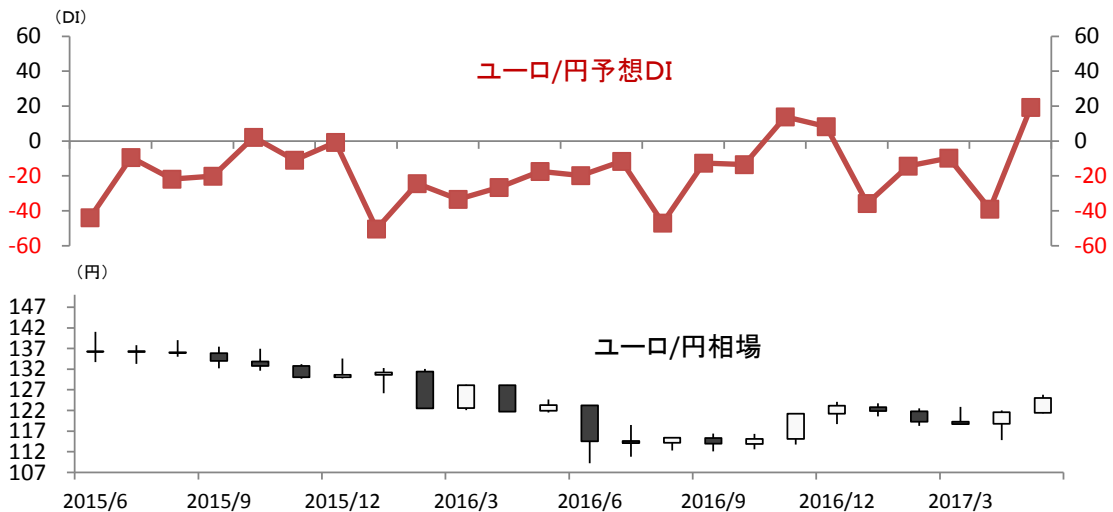
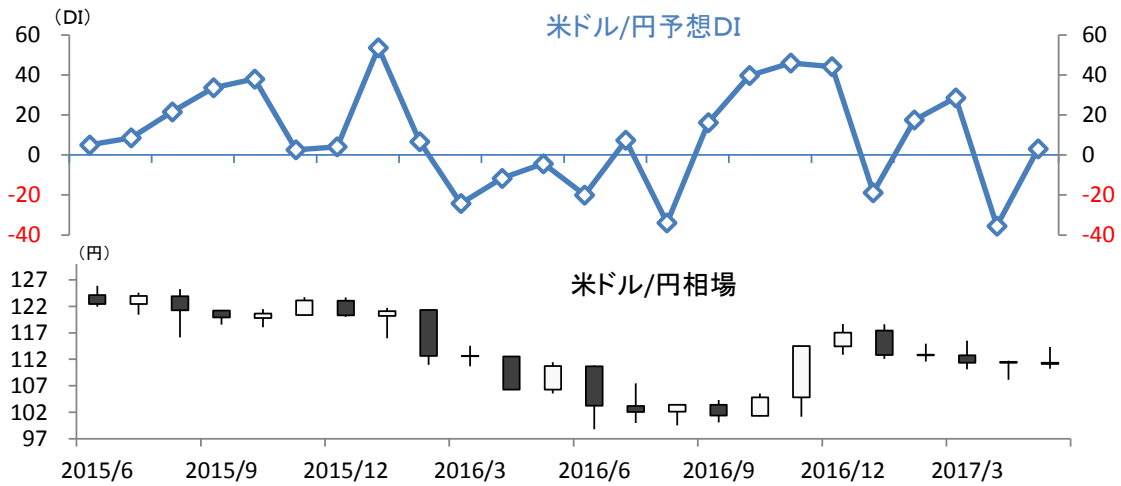
#### ビットコインなど、仮想通貨への投資意向



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

**【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】**



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第96回目となりました。調査開始から8年が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2015年	6月	43.5	21.9	21.6	25.4	47.2	-21.8	24.3	31.3	-7.0
	7月	49.1	15.5	33.6	23.6	43.7	-20.1	22.8	41.7	-18.9
	8月	51.1	13.1	38.0	30.9	28.8	2.1	24.1	38.5	-14.4
	9月	37.1	34.5	2.6	24.9	35.8	-10.9	29.9	40.7	-10.8
	10月	30.3	26.2	4.1	30.3	31.1	-0.8	39.6	33.0	6.6
	11月	67.3	13.6	53.7	11.1	61.4	-50.3	34.4	25.6	8.8
	12月	43.8	37.1	6.7	19.7	44.1	-24.4	30.5	38.4	-7.9
2016年	1月	27.3	51.5	-24.2	19.2	52.6	-33.4	22.8	52.5	-29.7
	2月	34.7	46.3	-11.6	22.5	49.0	-26.5	32.3	41.3	-9.0
	3月	33.3	37.6	-4.3	24.8	42.1	-17.3	37.6	31.8	5.8
	4月	30.2	50.2	-20.0	24.2	43.9	-19.7	34.2	35.7	-1.5
	5月	40.8	33.4	7.4	22.6	38.2	-11.6	35.7	35.3	0.4
	6月	26.3	60.2	-33.9	20.0	67.0	-47.0	24.8	50.5	-25.7
	7月	48.3	32.1	16.2	32.1	44.7	-12.6	44.2	29.8	14.4
	8月	26.5	48.9	-22.4	17.2	48.1	-30.9	25.9	40.2	-14.3
	9月	34.5	36.8	-2.3	23.8	38.0	-14.2	28.4	35.4	-7.0
	10月	57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3
	11月	65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8
	12月	64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4
2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5	-6.6
	2月	46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
	3月	53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
	4月	21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
	5月	38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com